

横浜市緑区長へ表敬訪問



自衛隊神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 内山2空尉）は、11月12日（金）に所長と口下部広報官（陸曹長・横濱市緑区担当）が横浜市緑区役所を訪れ、岡田展生緑区長を表敬訪問した。
おかだのぶお

岡田区長（令和2年4月着任）は、陸上自衛隊少年工科学校（現・高等工科学校）の卒業生であり、自衛官として勤務した後、横浜市役所に入庁した。定期的な区役所訪問している口下部広報官も同校の卒業生であり、先輩である区長と当時の学校生活について、思い出話に花を咲かせることも多かつた。

このような縁もあり、このたび岡田区長より「緑区の広報紙で自衛隊の活動を紹介してみませんか」と提案を受けた。広報誌担当者も交えた話し合いでは「来年度2回掲載可能であること、緑区出身の隊員紹介など写真を交えて掲載可能であること、自衛官募集の表記をして良いこと」など前向きなお話を頂いた。今後は、掲載内容には十分に注意したうえで、区からの要望に沿った内容や写真などを検討していくこととし、発行紙への掲載時期を具体的に検討していくこととなった。

市ヶ尾募集案内所は「担当区である緑区との関係を引き続き良好に保ちつつ、募集広報活動の新しいツールの開拓チャンスをつかみたい。自衛隊の活動を正しく理解してもらえるよう、広報紙掲載の実現に向け邁進していきたい。」と語っている。

『職業講話』を実施

自衛隊神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 新妻1陸尉）

は11月17日（水）、中学生向け学習支援として『職業講話』を実施した。これは、相模

原青年会議所（JCY）

が市内小中学校に対し

学習支援として、相模

原地域に暮らす大人た

ちによる授業として

『地域の先生』となつ

て仕事について『職業

講話』をしているもので、今回2回目の参加となった。

当日は、自衛隊の他に7名の講師が招かれそれぞれの職業について約70名の生徒に対し働く意義や喜び、厳しさ、悩みなど、そしてどうすればその職業に就くことが出来るのか、体験談などを講話した。自衛隊では、いろいろな将来の選択肢があること、人との繋がりを大切にすること、仲間の大切さなどについて話をした。そして子供たちに「夢中になれるものを見つけてください。頑張ったものが将来につながります」とメッセージを送った。

相模原地域事務所は『地元地域の先生』となって、今後も教育支援をしていきたい」と語っている。

